第1回阪大本番レベル模試（文）　国語　採点基準

一　現代文　採点基準（合計＝４０点）

問一　９点

（模範解答例）

Ａ①○１点　Ａ②○１点　Ａ③○１点

古典的＝有機的体制の映画は、登場人物がある状況を知覚し、それに対して行動するイメージの連鎖からなるが、〈Ａ３点〉

Ｂ①○１点　Ｂ②○１点　Ｂ③○１点

現代的＝結晶的体制の映画は、状況に反応できずに、ただ見ることしかできない人物を登場させ、

Ｂ④○１点　Ｂ⑤○１点

第二次大戦後に登場したネオ・レアリズモ等におけるように、純粋に光学的音声的状況を浮かび上がらせる点で区別される。〈Ｂ５＋１＝６点〉

（９点）

◎採点のポイント

※Ａ、Ｂは条件同士で、また各条件内でも部分採点可能である。（８点）

※ただし、条件Ｂについては、正しい要素が一つ以上あれば、１点加点される。（１点）

Ａ「古典的＝有機的体制の映画は、登場人物がある状況を知覚し、それに対して行動するイメージの連鎖からなるが、」〈３点〉

※　傍線部の区別を説明するための「古典的＝有機的体制の映画」の条件。

①　「古典的＝有機的体制の映画は、」の要素。（１点）

×　「古典的＝有機的体制の映画」のニュアンスの成分が入っていなければ×。

②　「登場人物がある状況を知覚し、」の要素。（１点）

○　「登場人物がある事態に感応し、」「登場人物が情勢を感受し、」などでも可。

×　「登場人物がある状況を知覚」のニュアンス成分が入っていなければ×。

③　「それに対して行動するイメージの連鎖からなるが、」の要素。

○　「それに対応して行動するイメージの連関からなるが、」「それに応じてアクションをとるイメージの連なりからなるが、」などでも可。

×　「それに対して行動するイメージの連鎖」のニュアンスの成分が入っていなければ×。

B　「現代的＝結晶的体制の映画は状況に反応できずに、ただ見ることしかできない人物を登場させ、第二次大戦後に登場したネオ・レアリズモ等におけるように、純粋に光学的音声的状況を浮かび上がらせる点で区別される。」〈5点〉

※　傍線部の区別を説明するための「現代的＝結晶的体制の映画」の条件。

①　「現代的＝結晶的体制の映画は」の要素。（1点）

×　「現代的＝結晶的体制の映画」のニュアンスの成分が入っていなければ×。

②　「状況に反応できずに、」の要素。（1点）

○　「状況に対応できずに、」「事態に応じることができずに、」などでも可。

×　「状況に反応できず」のニュアンス成分が入っていなければ×。

③　「ただ見ることしかできない人物を登場させ、」の要素。（1点）

○　「ただ目撃することしかできない人物を登場させ、」「ただ眺めることしかできない人間を登場させ、」などでも可。

×　「ただ見ることしかできない人物」のニュアンス成分が入っていなければ×。

④　「第二次大戦後に登場したネオ・レアリズモ等におけるように、」の要素。（1点）

○　「第二次大戦後に登場したネオ・レアリズモ、ヌーヴェル・ヴァーグなどにおけるように、」「第二次大戦後に登場したニュー・ジャーマン・シネマ等におけるように、」などでも可。

×　「第二次大戦後に登場した（ネオ・レアリズモ、ヌーヴェル・ヴァーグ、ニュー・ジャーマン・シネマの少なくとも一つ）等におけるように、」のニュアンス成分が入っていなければ×。

⑤　「純粋に光学的音声的状況を浮かび上がらせる点で区別される。」の要素。（1点）

○　「純粋に光学的音声的状況を表出させる点で区別される。」「まぎれもない光学的音声的状況を顕在化する点で区別される。」などでも可。

×　「純粋に光学的音声的状況を浮かび上がらせる点で区別」のニュアンス成分が入っていなければ×。

問二　10点

（模範解答例）

A①○1点　A②○1点　A③○1点

有機的体制では世界（状況）は　人間との相互作用によって変化し、　高次の世界へと発展するものと捉えられるが、〈A3点〉

B①○1点　B②○1点　B③○1点

現代世界では、　世界大戦とその帰結などの外的要因によって　人間と世界の有機的な絆が引き裂かれており、　価値観や信念体系などの揺らぎ、　商業戦略的イメージの氾濫という事態が　加速度的に進行していると考えるから。〈6＋1＝7点〉（10点）

B④○1点　B⑤○1点　B⑥○1点

◎　採点のポイント

※A、Bは条件同士において、また各条件内でも部分採点可能。（9点）

※ただし、条件Bについては、正しい要素が一つ以上あれば1点加点する。（1点）

A「有機的体制では世界（状況）は人間との相互作用によって変化し、高次の世界へと発展するものと捉えられるが、」〈3点〉

※　筆者が傍線部のように言う理由を説明するための一方の条件。

①　「有機的体制では世界（状況）は」の要素。（1点）

×　「有機的体制における世界（状況）」のニュアンスの成分が入っていなければ×。

②　「人間との相互作用によって変化し、」の要素。（1点）

○　「人間との相互交渉によって変容し、」「人間との相互作用で止揚され、」などでも可。

×　「人間との相互作用によって変化」の否定ニュアンスの成分が入っていなければ×。

③　「高次の世界へと発展するものと捉えられるが、」の要素。（1点）

○　「高次の次元へと到達するものとみなされるが、」「より高次の世界へと展開して行くと考えられるが、」などでも可。

×　「高次の世界へと発展する」の否定のニュアンスの成分が入っていなければ×。

B「現代世界では、世界大戦とその帰結などの外的要因によって人間と世界の有機的な絆が引き裂かれており、価値観や信念体系などの揺らぎ、商業戦略的イメージの氾濫という事態が加速度的に進行していると考えるから。」〈6点〉

※　筆者が傍線部のように言う理由を説明するための、Aとは〈矛盾〉する他方の条件。

①　「現代世界では、」の要素。（1点）

×　「現代世界」の成分が入っていなければ×。

②　「世界大戦とその帰結などの外的要因によって」の要素。（1点）

○　「世界大戦とその帰結、アメリカン・ドリームの動揺などの外的要因によって」「さまざまなマイノリティーの新たな意識などの外的要因によって」などでも可。

×　「（世界大戦とその帰結、アメリカン・ドリームの動揺、さまざまなマイノリティーの新たな意識、ひとびとの頭のなかでの諸イメージの増大、の中の少なくとも一つ）などの外的要因によって」のニュアンスの成分が入っていなければ×。

③　「人間と世界の有機的な絆が引き裂かれており、」の要素。（1点）

○　「人間と世界の有機的な関係が乖離しており、」「人間と世界の相互作用的な結びつきが壊れており、」などでも可。

×　「人間と世界の有機的な絆が引き裂かれている」のニュアンスの成分が入っていなければ×。

④　「価値観や信念体系などの揺らぎ、」の要素。（1点）

○　「価値や信念などについての体系的思考の揺らぎ、」「価値観や信念体系などの一貫性の崩壊、」などでも可。

×　「価値観や信念体系などの揺らぎ」のニュアンスの成分が入っていなければ×。

⑤　「商業戦略的イメージの氾濫という事態が」の要素。（1点）

○　「商業戦略上のイメージの蔓延という事態が」「商業戦略のためのイメージの乱発という状況が」などでも可。

×　「商業戦略的イメージの氾濫」のニュアンスの成分が入っていなければ×。

⑥　「加速度的に進行していると考えるから。」の要素。（1点）

○　「勢いを増しつつあると考えるから。」「加速度的に促進されていると思うから。」などでも可。

×　「加速度的に進行していると考える」というニュアンスの成分が入っていなければ×。

問三　8点

（模範解答例）

A①○1点　A②○1点　A③○1点

人間の知覚-情動-行動と有機的な関わりをもつ　世界の諸々のイメージが　一種の幻想あるいは神話であることが露呈し、　A④○1点

「非人間的」になった世界の中で、〈A4点〉

B①○1点　B②○1点　B③○1点

感覚を刺激するだけの暴力表象でしかない　「出来の悪い」映画を見るように、　感覚的、断片的に生きている。〈B3＋1＝4点〉

（8点）

◎採点のポイント

※A、Bは条件同士、また各条件内でも部分採点可能。（7点）

※ただし、条件Bについては、正しい要素が一つ以上あれば1点加点される。（1点）

A　「人間の知覚-情動-行動と有機的な関わりをもつ世界の諸イメージが一種の幻想、神話であることが露呈し、『非人間的』になった世界の中で、」〈4点〉

※　傍線部に関して、筆者が「私たち」がどのように「この世界」を生きているかを〈因果関係〉で説明している〈因〉の条件。

①　「人間の知覚-情動-行動と有機的な関わりをもつ」の要素。（1点）

○　「人間の知覚-情動-行動と生きた関係を持つ」「人間の知覚-情動-行動といきた体系を構成する」などでも可。

×　「人間の知覚-情動-行動と有機的な関わりをもつ」の成分が入っていなければ×。

②　「世界の諸イメージが」の要素。（1点）

○　「世界の諸々のイメージが」「世界のさまざまイメージが」などでも可。

×　「世界の諸イメージ」というニュアンスの成分が入っていなければ×。

③　「一種の幻想、神話であることが露呈し、」の要素。（1点）

○　「一種の幻想、神話でしかないことが露わになり、」「一種の幻想にすぎなかったことが白日のもとに晒され、」などでも可。

×　「一種の幻想、神話であることが露呈」というニュアンスの成分が入っていなければ×。

④　『非人間的』になった世界の中で、」の要素。

○　『非人間的』なものになり果てた世界の中で、」『非人間的』なものとして現前する世界の中で、」などでも可。

×　『非人間的』になった世界」というニュアンスの成分が入っていなければ×。

B　「感覚を刺激するだけの暴力表象でしかない『出来の悪い』映画を見るように、感覚的、断片的に生きている。」〈3点〉

※　傍線部に関して、筆者が「私たち」がどのように「この世界」を生きているかを〈因果関係〉で説明している〈果〉の条件。

①　「感覚を刺激するだけの暴力表象でしかない」の要素。（1点）

○　「感覚を刺激するだけの暴力表象と化してしまった」「もっぱら感覚を刺激する暴力的表象以外の何ものでもない」などでも可。

×　「感覚を刺激するだけの暴力表象でしかない」のニュアンスの成分が入っていなければ×。

②　『『出来の悪い』映画を見るように、」の要素。（1点）

○　『『出来の悪い』映画を味わうように」『『出来の悪い』映画を眺めるように、」などでも可。

×　『『出来の悪い』映画を見る」のニュアンスの成分が入っていなければ×。

③　「感覚的、断片的に生きている。」の要素。（1点）

○　「感覚的、刹那的に生きている。」「感性的、断片的に生きている。」などでも可。

×　「感覚的、断片的に生きている」のニュアンスの成分が入っていなければ×。

問四　13点

（模範解答例）

A①○1点　A②○1点

震災――特に津波の映像には　自然が作り出した剥き出しの「破壊の造形美」があり、

A③○1点　A④○1点

人々は胸を痛めながらも　興奮して見続ける。〈A4点〉

B①○1点　B②○1点　B③○1点

その映像を「出来の悪い映画」のように消費する　猥褻な姿勢を示し、　古典的な「真実

B④○1点

の神話」の世界の側に引き籠もっているが、　そこには後ろめたさや閉塞感が付きまとっており、〈B4＋1＝5点〉

C①○1点　C②○1点　C③○1点

これを払拭するために、　ただ見るだけの　純粋に光学的音声的状況を浮上させなければならない。〈C3＋1＝4点〉（13点）

◎　採点のポイント

※　A、B、Cは条件同士において、また各条件内でも部分採点可能。（11点）

※　ただし、条件B、Cについては、正しい要素がそれぞれ一つ以上あれば、それぞれ1点ずつ加点される。（2点）

A　「震災――特に津波の映像には自然が作り出した剥き出しの「破壊の造形美」があり、人々は胸を痛めながらも興奮して見続ける。」〈4点〉

※　「津波の映像を興奮して見続ける」という条件。

①　「震災――特に津波の映像には」の要素。（1点）

×　「震災（――特に津波）の映像」の要素が入っていなければ×。

②　「自然が作り出した剥き出しの『破壊の造形美』があり、」の要素。（1点）

○　「自然が生み出した露わなの『破壊の造形美』があり」「自然が創出した荒々しい『破壊の造形美』があり」などでも可。

×　「自然が作り出した（剥き出しの）『破壊の造形美』」というニュアンスの成分が入っていなければ×。

③　「人々は胸を痛めながらも」の要素。（1点）

○　「人々は心を痛めながらも」「人々は心痛の思い胸を抱きながらも」などでも可。

×　「人々が胸を痛める」というニュアンスの成分が入っていなければ×。

④　「興奮して見続ける。」の要素。（1点）

○　「気持ちを高ぶらせながら見続ける」「興奮状態で見続ける」などでも可。

×　「興奮して見続ける」というニュアンスの成分が入っていなければ×。

B　「その映像を『出来の悪い映画』のように消費する猥褻な姿勢を示し、古典的な「真実の神話」の世界の側に引き籠もっているが、そこには後ろめたさや閉塞感が付きまとっており、」〈4点〉

※　「津波の映像」みることに後ろめたさや閉塞感を感じる」として、Aとは〈矛盾〉する条件。

①　「その映像を『出来の悪い映画』のように消費する」の要素。（1点）

○　「その映像を『出来の悪い映画』と同じように味わう」「その映像を『出来の悪い映画』なみに食い潰す」などでも可。

×　「その映像を『出来の悪い映画』のように消費」のニュアンスの成分が入っていなければ×。

②　「猥褻な姿勢を示し、」の要素。（1点）

○　「みだらな姿勢を示し、」「不品行なあり方を示し、」などでも可。

×　「猥褻な姿勢を示す」のニュアンスの成分が入っていなければ×。

③　「古典的な『真実の神話』の世界の側に引き籠もっているが、」の要素。（1点）

○　「古臭い『真実の神話』の世界の側に退いているが、」「有機的な『真実の神話』の世

界の側に後退しているが、」などでも可。

×　「古典的な『真実の神話』の世界の側に引き籠もっている」のニュアンスの成分が入っていなければ×。

④　「そこには後ろめたさや閉塞感が付きまとっており、」の要素。（1点）

○　「そこには居心地の悪さやふさぎ込んだ感じが付きまとっており、」「そこには自己欺瞞の感覚やひっそり感がまとわりついており、」などでも可。

×　「そこには後ろめたさや閉塞感が付きまとっている」のニュアンスの成分が入っていなければ×。

C　「これを払拭するために、ただ見るだけの純粋に光学的音声的状況を浮上させなければならない。」〈3点〉

※　A、Bをともに否定して抜け出す条件。

①　「これを払拭するために、」の要素。（1点）

×　「払拭」のニュアンスの成分が入っていなければ×。

②　「ただ見るだけの」の要素。（1点）

○　「ひたすら見るだけの」「見ることしかしない」などでも可。

×　「ただ見るだけ」のニュアンスの成分が入っていなければ×。

③　「純粋に光学的音声的状況を浮上させなければならない。」の要素。（1点）

○　「まじりけのない光学的音声的状況を浮き上がらせなければならない。」「光学的音声的状況そのものを現前させねばならない。」などでも可。

×　「純粋に光学的音声的状況を浮上」のニュアンスの成分が入っていなければ×。

二（評論）採点基準（合計＝３５点）

問一　９点

（模範解答例）

Ａ①○１点　Ａ②○１点

妻の希望で不承不承エルサレムにやってきたが、ヨルダン領でいいところはほぼないと分かり、妻に不満をぶつけると、〈Ａ３点〉

Ａ③○１点

Ｂ①○１点　Ｂ②○１点

夫婦だけの外国旅行では二人で話すしかないため、妻は夫の苦情を直に受け止めて落ち込むしかないが、〈Ｂ２＋１＝３点〉

Ｃ①○１点　Ｃ②○１点

その様子を見て夫はサディスティックにフラストレーションを解放しえているから。〈Ｃ２＋１＝３点〉（９点）

◎　採点のポイント

※　Ａ、Ｂ、Ｃは条件同士、また各条件内でも部分採点可能。（７点）

※　ただし条件Ｂ、Ｃについては、それぞれ正しい要素が一つ以上あれば、それぞれ１点加点される。（２点）

Ａ　「妻の希望で不承不承エルサレムにやってきたが、ヨルダン領でいいところはほぼないと分かり、妻に不満をぶつけると、」〈３点〉

※　傍線部について「妻が泣きそうな顔になる」〈因果関係〉の〈因〉の条件。

①　「妻の希望で不承不承エルサレムにやってきたが、」の要素。（１点）

○「妻の要望で仕方なくエルサレムにやってきたが、」「妻の我儘ともいうべき希望を渋々きいてエルサレムにやってきたものの、」などでも可。

×　「妻の希望で不承不承エルサレムに」のニュアンスの成分が入っていなければ×。

②　「ヨルダン領でいいところはほぼないと分かり、」の要素。（１点）

○　「ヨルダン領にはめぼしいところはほぼないと分かり、」「ヨルダン領で観るべきところはほぼないと判明し、」などでも可。

×　「ヨルダン領でいいところはほぼないと分かる」というニュアンスの成分が入っていなければ×。

③　「妻に不満をぶつけると、」の要素。（１点）

○　「妻に憤懣をぶつけると、」「妻に不平を差し向けると、」などでも可。

×　「妻に不満をぶつける」というニュアンスの成分が入っていなければ×。

B　「夫婦だけの外国旅行では二人で話すしかないため、妻は夫の苦情を直に受け止めて落ち込むしかないが、」〈3点〉

※　傍線部について「妻が泣きそうな顔になる」〈因果関係〉の〈果〉の条件。

①　「夫婦だけの外国旅行では二人で話すしかないため、」の要素。（1点）

○　「夫婦二人だけの外国旅行では互いと話すしかないため、」「夫婦二人の外国旅行では話し相手は互いの伴侶しかないため、」などでも可。

×　「夫婦だけの外国旅行では二人で話すしかない」のニュアンスの成分が入っていなければ×。

②　「妻は夫の苦情を直に受け止めて落ち込むしかないが、」の要素。（1点）

○　「妻は夫の不満を直接に受け止めて気分がへこむしかないが、」「妻は夫の不平を丸ごと受けとることになって落胆するしかないが、」などでも可。

×　「妻は夫の苦情を直に受け止めて落ち込むしかない」というニュアンスの成分が入っていなければ×。

C　「その様子を見て夫はサディスティックにフラストレーションを解放しえているから。」〈2点〉

※　A、Bをまとめて引き起こる帰結の条件。

①　「その様子を見て夫は」の要素。（1点）

○　「その妻の様子を見た夫は」「その様子を見通した夫は」などでも可。

×　「その様子を見て夫は」のニュアンスの成分が入っていなければ×。

③　「サディスティックにフラストレーションを解放しえているから。」の要素。（1点）

○　「嗜虐的に欲求不満を解消し得ているから。」「サディスティックに憤懣を晴らし得ているから。」などでも可。

×　「サディスティックにフラストレーションを解放」というニュアンスの成分が入っていなければ×。

問二　8点

（模範解答例）

A①○1点　A②○1点

葡萄酒を飲んで少し気分が落ち着いたらしい夫が　外で煙草を吸ってくるといって、

A③○1点　A④○1点　A⑤○1点

妻も一緒にくるかと問いかけるのは、　夫婦喧嘩をやめる意思の表れだと見て　少し優越感を抱いたが、〈A5点〉

B①○1点　B②○1点

夫婦二人旅行では一人置いてけぼりにされるのは心細いので、　気は進まないが夫についていくしかないという気持ち。〈B2＋1＝3点〉（8点）

◎　採点のポイント

※　A、Bは条件同士において、また各条件内でも、部分採点可能。（7点）

※　ただし条件Bについては、正しい要素が一つ以上あれば、1点加点される。（1点）

A　「葡萄酒を飲んで少し気分が落ち着いたらしい夫が外で煙草を吸ってくるといって、妻も一緒にくるかと問いかけるのは、夫婦喧嘩をやめる意思の表れだと見て少し優越感を抱いたが、」〈5点〉

※　傍線部の妻の心情の一方を表す条件。

①　「葡萄酒を飲んで少し気分が落ち着いたらしい夫が」の要素。（1点）

○　「葡萄酒を飲んで少し落ち着きを取り戻したらしい夫が」「葡萄酒を飲んだせいで少し穏やかな気分になったらしい夫が」などでも可。

×　「葡萄酒を飲んで少し気分が落ち着いたらしい夫」のニュアンスの成分が入っていなければ×。

②　「外で煙草を吸ってくるといって、」の要素。（1点）

○　「外へ煙草を吸いにいくと言って、」「煙草を吸いに外に行ってくるといいながら、」などでも可。

×　「外で煙草を吸ってくる」というニュアンスの成分が入っていなければ×。

③　「妻も一緒にくるかと問いかけるのは、」の要素。（1点）

○　「妻も一緒に来ないかと問いかけるのは、」「妻に一緒に来るようにさそうのは、」などでも可。

×　「妻も一緒にくるかと問いかける」のニュアンスの成分が入っていなければ×。

④　「夫婦喧嘩をやめる意思の表れだと見て」の要素。（1点）

○　「夫婦喧嘩をやめる気持ち表明だと見て」「夫婦喧嘩を切り上げる意思の暗示

だと解して」などでも可。

×　「夫婦喧嘩をやめる意思の表れだと見る」というニュアンスの成分が入っていなければ×。

⑤　「少し優越感を抱いたが、」の要素。（1点）

○　「少し優越的な気分になったが、」「少し優越感を持ったものの、」などでも可。

×　「少し優越感を抱いた」というニュアンスの成分が入っていなければ×。

B　「夫婦二人旅行では一人置いてけぼりにされるのは心細いので、気は進まないが夫についていくしかないという気持ち。」〈2点〉

※　傍線部の妻の心情の他方を表す、Aとは〈矛盾〉する条件。

①　「（夫婦二人旅行では）一人置いてけぼりにされるのは心細いので、」の要素。（1点）

○　「夫婦二人旅行では一人ぼっちにされるのは不安なので」「夫婦だけの旅行では一人きりにされるのは怖いので」などでも可。

×　「夫婦二人旅行では一人置いてけぼりにされるのは心細い」というニュアンスの成分が入っていなければ×。

②　「気は進まないが夫についていくしかないという気持ち。」の要素。（1点）

○　「気乗りはしないが夫についていくしかないという気持ち。」「気は進まないものの夫の意向に従うしかないという気持ち。」などでも可。

×　「気は進まないが夫についていくしかない。」というニュアンスの成分が入っていなければ×。

問三　9点

（模範解答例）

A①○1点　妻がミッション学校時代のB①○1点

A②○1点　聖書の説教や聖歌の話をしだすと、〈A2点〉B②○1点

自分も高等学校の寮時代に、聖書の頁をめくり本気でイエスのことを考え込んだりしたことがあったが、〈B2点〉

C①○1点　結局は昔のこととして、イエスも単なる偉人、さらに非科学的な人物とみなして、興味をなくしていったことが想起され、〈C2＋1＝3点〉

C②○1点　関心、D○1点

ほろ苦い思いに捕らわれるから。〈D1＋1＝2点〉（9点）

◎　採点のポイント

※　A、B、C、Dは条件同士において、また条件A、B、C内でも部分採点可能。（7点）

※　ただし条件Cについては、正しい要素が一つ以上あれば、また条件Dについては条件そのものが正しくあれば、それぞれ1点加点される。（2点）

A　「妻がミッション学校時代の聖書の説教や聖歌の話をしだすと、」〈2点〉

※　傍線部の心情の理由説明をするための前提となる条件。

①　「妻がミッション学校時代の」の要素。（1点）

○　「妻がミッション学校時代について」「妻がミッション学校時代を思い出して」などでも可。

×　「妻がミッション学校時代について」のニュアンスの成分が入っていなければ×。

②　「聖書の説教や聖歌の話をしだすと、」の要素。（1点）

○　「聖書や聖歌の話をしだすと、」「聖書の説教や聖歌について話し出すと、」などでも可。

×　「聖書の説教や聖歌の話をしだす」のニュアンスの成分が入っていなければ×。

B　「自分も高等学校の寮時代に、聖書の頁をめくり本気でイエスのことを考え込んだりしたことがあったが、」〈2点〉

※　傍線部の心情の理由説明をするための、Aから引き出される一方の条件。

①　「自分も高等学校の寮時代に、」の要素。（1点）

○　「自分も高等学校時代に寮で、」「自分もかつて高等学校の寮で、」などでも可。

×　「（自分も高等学校（の寮）時代に」のニュアンスの成分が入っていなければ×。

②　「聖書の頁をめくり本気でイエスのことを考え込んだりしたことがあったが、」の要素。（1点）

○　「聖書を紐解きながら本気でイエスについて深く考えたりしたことがあったが、」「聖書の頁を繰りながらイエスの行跡について思いをめぐらしたことがあったが、」などでも可

×　「聖書の頁をめくり本気でイエスのことを考え込んだりした」というニュアンスの成分が入っていなければ×。

C　「結局は昔のこととして、イエスも単なる偉人、さらに非科学的な人物とみなして、関心、興味をなくしていったことが想起され、」〈2点〉

※　傍線部の心情の理由説明をするための、Aから引き出される、Bとは〈矛盾〉する他方の条件。

①　「結局は昔のこととして、イエスも単なる偉人、さらに非科学的な人物とみなして、」の要素。（1点）

○　「結局はイエスも昔の単なる偉人、さらに非科学的な人物とみなして、」「つまるところ、昔のことにすぎず、イエスも単なる偉人。また非科学的な人物でしかないと考えて、」などでも可。

×　「結局はイエスも昔の単なる偉人、さらに非科学的な人物とみなして、」というニュアンスの成分が入っていなければ×。

②　「関心、興味をなくしていったことが想起され、」の要素。（1点）

○　「関心や興味を失っていったことが想起され、」「関心も興味も持たなくなってしまったことが思い出され、」などでも可。

×　「関心、興味をなくしていったことが想起され」というニュアンスの成分が入っていなければ×。

D　「ほろ苦い思いに捕らわれるから。」〈1点〉

※　B、Cをまとめて結論付ける条件。

○　「ほろ苦い思いを味わうことになるから。」「なつかしくもあり、苦くもある思いに浸されるから。」などでも可。

×　「ほろ苦い思いに捕らわれる」というニュアンスの成分が入っていなければ×。

問四　8点

（模範解答例）

A①○1点　A②○1点

まず回教の雰囲気の漂うヨルダン領エルサレムの地に　欧米的な、つまりキリスト教について語りうる余地を導き、〈A2点〉

B①○1点　B②○1点

夫婦が口喧嘩しながら、　ゲッセマの園を経て、イエスが処刑されたゴルゴタの丘の教会、

B③○1点

イエスが十字架を背負って歩いた道、そしてユダが首つった樹と、　キリストの最期の行跡を辿る〈B3＋1＝4点〉

C①○1点　C②○1点

始めと　終わりを告げ知らせる働き。〈C2＋1＝3点〉

（9点）

◎　採点のポイント

※　A、B、Cは条件同士において、また各条件内でも部分採点可能。（7点）

※　ただし、条件B、C内ついては、正しい要素がそれぞれ一つ以上あれば、それぞれ1点加点される。（2点）

A　「まず回教の雰囲気の漂うヨルダン領エルサレムの地に欧米的な、つまりキリスト教について語りうる余地を導き、」〈2点〉

※　波線部Xの「ジャズ」による第一弾の役割を説明する条件。

①　「まず回教の雰囲気の漂うヨルダン領エルサレムの地に」の要素。（1点）

○　「まず回教的な雰囲気が強いヨルダン領エルサレムの地に」「まず回教の雰囲気の中にあるヨルダン領エルサレムに」などでも可。

×　「回教の雰囲気の漂うヨルダン領エルサレムの地」というニュアンスの成分が入っていなければ×。

②　「欧米的な、つまりキリスト教について語りうる余地を導き、」の要素。（1点）

○　「欧米的＝キリスト教について語りうる余地を導き、」「欧米的な、つまりキリスト教な要素を導入する余地開き、」などでも可。

×　「欧米的な、つまりキリスト教について語りうる余地を導く」というニュアンスの成分が入っていなければ×。

B　「夫婦が口喧嘩しながら、ゲッセマの園を経て、イエスが処刑されたゴルゴタの丘の教会、イエスが十字架を背負って歩いた道、そしてユダが首つった樹と、キリストの最期の行跡を辿る」〈2点〉

※　波線部Xの「ジャズ」の役割から波線部Yの「ジャズ」の役割に至る第二弾の働きを説明する他方の条件。

①　「夫婦が口喧嘩しながら、」の要素。（1点）

○　「夫婦がののしり合いながら、」「夫婦が言い合いをしながら、」などでも可。

×　「夫婦が口喧嘩」というニュアンスの成分が入っていなければ×。

③　「ゲッセマの園を経て、イエスが処刑されたゴルゴタの丘の教会、イエスが十字架を背負って歩いた道、そしてユダが首つった樹と、」の要素。（1点）

○　「ゲッセマの園を経て、イエスが処刑されたゴルゴタの丘の教会、そしてユダが首つった樹と、」「ゲッセマの園を経て、イエスが十字架を背負って歩いた道、そしてユダが首つった樹と、」

×　「ゲッセマの園を経て、（「イエスが処刑されたゴルゴタの丘の教会、イエスが十字架を背負って歩いた道…）そしてユダが首つった樹と、」という成分が入っていなければ×（つまり、「始まりと、中間、そして終わり」の成分が要るということ）。

④　「キリストの最期の行跡を辿る」の要素。（1点）

○　「キリストの最期の足取りを辿る」「キリストの最期の行動に合わせて歩む」などでも可。

×　「キリストの最期の行跡を辿る」というニュアンスの成分が入っていなければ×。

C　「始めと終わりを告げ知らせる働き。」〈1点〉

※　A、Bをまとめて、「ジャズ」の役割を端的にまとめる条件。

○　「始めと終わりを画する働き。」「始めと終わりを宣言する働き。」などでも可。

×　「始めと終わりを告げ知らせる働き」というニュアンスの成分が入っていなければ×。

三（古文）採点基準（40点）

問一　①　傍線部①を現代語訳しなさい。

■ **基準　配点　4点**

■ **採点方法　各要素単独採点**

■ 表記・字数

・**字数　指定なし。**

・句読点不問。

・**文末表現　指定なし　→　要素Bに準ずる。**

［傍線部］　A2 かなしき子に後れ、B2 女男のあはれに思ふに後れ、

［模範解答］　A2 **かわいく思う子に先立たれ、**B2 **女であれ男であれ、愛しく思う人に先立たれ、**

［ポイント］

要素A【2点】**かわいく思う子に先立たれ、**

◇「かわいく思う子」ができていて【1点】。

※「かわいく思う」　同意例　○　かわいい・愛しい　等

×　悲しい・かわいそうな　等

※「子」　同意例　○　わが子・子供　等

◇「先立たれ」ができていて【1点】。

※「先立たれ」　同意例　○　先に死なれて　等

要素B【2点】**女であれ男であれ、愛しく思う人に先立たれ、**

◇「男女が愛する人に先立たれ」ができていて【2点】。

※「**女であれ男であれ**」　同意例　○　男女が・男と女が

※「愛しく思う」　同意例　○　愛する・愛しい・恋しい・情け深く思う　等

※「先立たれ」　同意例　○　先に死なれて　等

※右の3項目の内、1項目が欠けるごとに【マイナス1点】。

問一　②　傍線部②を現代語訳しなさい。動作の対象を補って訳すこと。

■ **基準　配点　4点**

■ **採点方法　各要素単独採点**

■ 表記・字数

・**字数　指定なし。**

・句読点不問。

・**文末表現　指定なし　→　要素Bに準ずる。**

［傍線部］　A2かしこにいみじき鯉（こひ）の候ひつる、B2聞こし召させばや

［模範解答］　A2あちらにたいそう立派な鯉がございました、B2その鯉を父上に召し上がらせたい。

［ポイント］

要素A【2点】**あちらにたいそう立派な鯉がございました、**

◇**「あちらにたいそう立派な鯉がございました」**ができていて【2点】。

※文末は「～を・～ので」などでもよしとする。

※**「あちらに」**　同意例　○　あそこに　等

※「たいそう立派な」　同意例　○　立派な・素晴らしい・良質な・よい　等

※「鯉が」　同意例　なし

※「ございました」　同意例　○　おりました・ありました・いました　等

×　いた・いる［丁寧の表現がない］　等

※右の4項目の内、1項目が欠けるごとに【マイナス1点】。

要素B【2点】**その鯉を父上に召し上がらせたい**

◇「父上に召し上がらせたい」ができていて【2点】。

※「その鯉を」の有無は不問。

※「食べる」の意が読み取れない場合は×。

※**「父上に」**　同意例　○　父に・父様に・公任様　等

※「召し上がる」　同意例　○　召し上がっていただく・召し上がってもらう

［「食べる」の尊敬が正しい］

○　食べていただく　［「～していただく」は謙譲だがよしとする］

×　食べる・食べてもらう　［尊敬も「～していただく」もない］

※「たい」　同意例　○　～してほしい

※右の3項目の内、1項目が欠けるごとに【マイナス1点】。

問二　傍線部（a）において、「女房など」は、どのような状況について、どのような心情になっている
のか、説明しなさい。

■　**基準　配点　６点**

■　**採点方法　各要素単独採点**

■　表記・字数

・**字数　指定なし。**

・句読点不問。

・**文末表現**「心情・気持ち」などが望ましいが、説明が成立していればそれ以外でもよい。

［傍線部］　女房など、「つれづれにあるべき正月なめりかし」とて、「月日も過ぎて帰らせ給ふべきほどに」など申し思へり。

［模範解答］　A2 正月に公任がいない状況について、公任がいない正月を B2 寂しく思い、C2 早く月日が過ぎて公任に帰って来てほしいという心情。

［ポイント］

要素Ａ【２点】正月に公任がいない状況について、公任がいない正月を

◇「正月に公任がいない状況について・公任がいない正月が」ができていて【２点】。

※「正月」　同意例　○　新年・年末年始・十二月十九日から二月十日

「正月」に相当する表現がない場合は【１点】。

※不在の主体が「公任」であると明らかになっていない場合は×。

※「公任」の名がなく「主人」などとなっている場合は×。

（「公任」の名があれば「主人」の有無は不問とする。）

※「いない」　同意例　○　寺に籠もる　等

※「状況について」は「ことを・のを」などでもよしとする。

※「公任がいない正月を」は要素Ａ前半と重複するので繰り返し言っていなくてもよい。

要素Ｂ【２点】寂しく思い、

◇「寂しい」があれば【２点】。

※「寂しい」　同意例　○　退屈だ・つまらない・おもしろくない　等

要素Ｃ【２点】早く月日が過ぎて公任に帰って来てほしいという心情。

◇「早く月日が過ぎてほしい」の意が読み取れれば【１点】。

※「早く月日が過ぎてほしい」　同意例　○　早く［「公任に帰って来てほしい」に係る語句］

◇「公任に帰って来てほしい」の意が読み取れれば【１点】。

※「帰る」の主体「公任」は解答全体から読み取れればよいが、これがない場合は、右の【１点】は得点できない。

問三　傍線部（b）とあるが、この時、公任は「弁の君」の姿を見て、どのように感じているのか、具体的に説明しなさい。

■　**基準　配点　１０点**

■　**採点方法　各要素単独採点**

■　表記・字数

・**字数　指定なし。**

・句読点不問。

・**文末表現**　「感じている・感じた・～ように」などが望ましいが、説明が成立していればそれ以外でもよい。

［傍線部］　隠れの方よりうるはしうして、御前に出でて拝し奉り給ふなりけり。

※「隠れの方」に「控えの間」という注あり。

［模範解答］　A2 都でも優れて見えた姿が、山中の長谷では光り輝くように素晴らしく見えて、見る甲斐があり、B1 人にも見せたい、C2 他人の子であったらうらやましくて我が子にしたいだろうと思われ、D1 見た目も、顔立ちも、E1 気だても、F1 学才も G2 かつて並ぶ者がないほどに優れている、と感じた。

［ポイント］

要素A【2点】都でも優れて見えた姿が、山中の長谷では光り輝くように素晴らしく見えて、見る甲斐があり、

◇「都で優れて見えた」の意が読み取れれば【1点】。

※「優れて見えた」　同意例　○　素晴らしい・立派だ・見る甲斐がある・美しい　等

◇「山中でも素晴らしい」の意が読み取れれば【1点】。

※「山中」　同意例　○　長谷　等

※「素晴らしい」　同意例　○　光り輝く・優れている・立派だ・見る甲斐がある・美しい　等

要素B【1点】人にも見せたい、

◇「人に見せたい」の意が読み取れれば【1点】。

※「見せたい」　同意例　○　自慢したい　等

要素C【2点】他人の子であったらうらやましくて我が子にしたいだろうと思われ、

◇「他人の子であったらうらやましい」の意が読み取れれば【1点】。

◇「他人の子であったらわが子にしたい」の意が読み取れれば【1点】。

※「わが子にしたい」　同意例　○　欲しい　等

要素D【1点】見た目も、顔立ちも、

◇優れた点として「見た目」があれば【1点】。

※「見た目」　同意例　○　容貌・容姿・顔立ち　等

要素E【1点】気だても、
◇優れた点として「気立て」があれば【1点】。
※「気立て」　同意例　○　正確・性質・心根・心のあり方・心ばせ　等

要素F【1点】学才も
◇優れた点として「学才」があれば【1点】。
※「学才」　同意例　○　才能　等

要素G【2点】かつて並ぶ者がないほどに優れている、と感じた。
◇「並ぶ者がないほどに優れている」の意が読み取れれば【2点】。
※「優れている」は解答全体から読み取れればよい。
※「優れている」　同意例　○　すばらしい・立派だ　等
※「並ぶ者がないほどに」がない場合は【1点】。

問四　傍線部（c）について、誰が、どのようなことをしたのが、わかりやすく説明しなさい。

■　基準　配点　6点
■　採点方法　各要素単独採点
■　表記・字数　・字数　指定なし。
・句読点不問。
・文末表現　「こと・～した」などが望ましいが、説明が成立していればそれ以外でもよい。

［傍線部］　御本意のことも聞こえ給へば、僧都うち泣きて御髪（みぐし）おろし給ひつ。戒（かい）など授け奉り給ひぬ。
※「戒」に「仏戒」という注あり。

［模範解答］
A1 三井別当僧都が、B2 出家したいというかねてからの公任の望みを聞き、C3 泣きながら公任の髪を切って出家させ、仏戒なども授けた。

［ポイント］
要素A【1点】三井別当僧都が、
◇「三井別当僧都が」の意があれば【1点】。
※「三井別当僧都」　同意例　○　三井別当・別当・僧都・心誉

要素B【2点】出家したいというかねてからの公任の望みを聞き、

◇「公任の出家の望みを聞き」の意が読み取れれば【2点】。

※「かねてからの望み」

同意例　○　望み・願い・願望・意志・かねてからの思い・以前からの考え・本意　等

※右の「望み」の内容が「出家」出あることが明らかでない場合は【1点】。

ただし、要素Cに「出家」があれば、**要素B**に「出家」がなくてもよい。

要素C【3点】泣きながら公任の髪を切って出家させ、仏戒なども授けた。

◇「公任の髪を切り、出家させ、仏戒を授けた」**の意が読み取れれば【3点】。**

※「泣きながら」の意の有無は不問とする。

※「髪を切り」　同意例　○　剃髪し・剃髪させ　等

この意があれば【1点】。

※「仏戒を授けた」　同意例　○　戒を与えた　等

この意があれば【1点】。

※「出家させた・（公任が）出家した」の意があれば【1点】。

要素Bに「出家」があれば、**要素C**に「出家」がなくても、この**【1点】は得点できる。**

※解答のどこにも**「公任」がない場合は、全体から【マイナス1点】。**

問五　（一）　ⓧの和歌を現代語訳しなさい。

■　基準　配点　6点

■　採点方法　各要素単独採点

■　表記・字数

・字数　指定なし。　・句読点不問。

・文末表現　指定なし　→　要素Bに準ずる。

［和歌］　A1いにしへはB2思ひかけきやC3取り交はしかく着んものと法（のり）の衣（ころも）を

［模範解答］

A1かつてはB2思いもかけなかったよ。C3ともに出家して、あなたと贈り交わしてこのように二人で法衣を着ることになろうなどとは。

［ポイント］

要素A【1点】かつては

◇「かつて」の意が読み取れれば【1点】。

※「かつて」　同意例　○　昔・以前　等

要素A【2点】思いもかけなかったよ。

◇**「思いもしなかった」、もしくは「思っただろうか」の意が読み取れれば【2点】。**

※「思いもかけなかった」

同意例　○　思いもしなかった・想いもかけなかった・思いもよらなかった・思わなかった

○　思っただろうか・思ってみただろうか・思ったか

※ 過去（＝～た）になっていない場合は【1点】。

要素B【3点】ともに出家して、あなたと贈り交してこのように二人で法衣を着ることになろうなどとは。

◇「贈り交して」、もしくは**「ともに・あなたと・二人で」の意が読み取れれば【1点】。**

◇「法衣を着る」**の意が読み取れれば【2点】。**

※　「法衣を着る」**の意がなく、「出家する」がある場合は【1点】。**

問五　（二）　Ⓨの和歌には、「衣」の縁語にもなっている掛詞が一カ所使われています。その掛詞を指摘しなさい。

■ **基準　配点　4点**

■ **採点方法　各要素単独採点**

■ 表記・字数

・**字数　指定なし。**

・句読点不問。

・**文末表現　指定なし　→　要素Bに準ずる。**

［和歌］　後れじと契りかはして着るべきを君が衣にたち後れける

［模範解答］　A2「たち」が「立ち」とB2「断ち」との掛詞である。

［ポイント］

要素A【2点】「たち」が「立ち」と

◇「「たち」が」の有無は不問。

◇**「立ち」があれば【2点】。**

※「立ち」　同意例　○　立ち後れ・立ち遅れ

◇**「立つ」となっている場合は【1点】。**

要素B【2点】「断ち」との掛詞である。

◇**「断ち」、もしくは「裁ち」があれば【2点】。**

※「衣を」などの説明の有無は不問。

◇**「断つ・裁つ」となっている場合は【1点】。**

Ⅳ（漢文）採点基準（合計＝３５点）

問一　５点

（解答）　有三老人涉レ菑而寒、出不レ能レ行、坐二於沙中一。（５点）

☆各加点要素の加点の条件

※完答のみ〇５点。

▲送り仮名をつけているものは不可✖０点減点。

問二　５点

（解答）　もつ（つ）てわかつべきものなし。　（５点）

☆各加点要素の加点の条件

〇　完答で〇。

✖「すべて平仮名」にしていないものは不可✖０点。

※「わかつ」は直前に読み方のヒントがあるので「わかつ（タ・四）」。

〇ただし、「わく（カ・下二）」でも同義になので、「わくべき」でも〇とする。

問三　8点

（模範解答）

A〇2点　田単が凍えた老人に自分の皮衣を与えたりするのは

B〇2点　人気取りで、その評判によって

C〇4点　国を乗っ取ろうとしているのではないか ということ。（8点）

☆各加点要素の加点の条件

A「田単が凍えた老人に自分の皮衣を与えたりするのは」（2点）

※「襄王之を悪みて」の「之」の具体的対象。直後の「田単の施す」＝本文冒頭から傍線部(3)の直前までの内容を指す。

〇「田単が」は、Cのアタマに「田単は」のようにあればそれでもよい。

✖どの位置にも「田単」について触れていないものは✖。

〇「田単が凍えた老人に自分の皮衣を与えたりする」「田単が老人に皮衣を与えたのは」「田単が老人に施しをしたのは」などで〇。

△「田単が民に施すのは」「田単が施しをするのは」などは△1点。

B「人気取りで、その評判によって」（2点）

※Aの要素がCの要素につながる理由。

〇「（民への）人気取りで」「（善行の）評判によって」「（自分の）評判を高めて」「人心（民の心）を得て」「善行を賛美されることで」などで〇。

C「国を乗っ取ろうとしているのではないか」（4点）

※「将に以て我が国を取らんと欲するか」の要素。

〇「国を乗っ取ろうとしているのではないか」「わが国を奪おうとしているにちがいない」「私の立場を危くしそうだ」「わが王位を奪おうとしているに違いない」「私の立場を危くしそうだ」「わが王位を奪おうとする魂胆に違いない」などで〇。

〇この後の「早く図らずんば恐らくは之に後れん」については、触れてあってもよいが、なくてもよい。

※「ということ。」

〇文末の「～ということ」の有無は不問とする。（文末の句点「。」のヌケは▲1点減点。）

問四　7点

A○1点　B○3点　C○3点

（模範解答）おまえは　私の危惧について　どう思うか。（7点）

☆各加点要素の加点の条件

A「おまえは」（1点）

※「汝」の訳

○「おまえは」「そなたは」「そのほうは」などで○。

○「あなたは」でも○とする。

B「私の危惧について」の要素（3点）

※「何についてか」の説明

○田単についての襄王の「危惧・懸念」が○3点。

▲田単が老人に皮衣を与えた行為だけは▲1点減点。

○「私の危惧について」「私の懸念について」「私の心配（事）について」「田単に対する私の危惧について」などで○3点。

▲「田単の行為について」「田単が老人に施した件について」「田単が老人に皮衣を与えたことを」などは▲1点減点。

▲「田単に対する対策について」「田単に国を奪われない方策について」なども▲1点減点。

✖

C「どう思うか」（3点）

※「以て何若と為す」の訳。「以て…と為す」で「…と思う」、「何若」で疑問「どう…か」。

○「どう思うか」「どのように思う（か）」「どう考えるか」などで○。

▲文末に「～ということ」を入れているものは▲1点減点。

問五　10点

A○2点

（模範解答）田単が、飢えた民に食糧を施したり、凍える民に衣類を施したりすることがあれば、

（a○2点）　B○4点

それらの田単の行為が、すべて民を憂慮する襄王の意向に沿ったものであることを示し、

C○2点　D○2点

田単の善行を賛美することで、結局、それが王の善意から出たものであることにする　ということ。（10点）

☆各加点要素の加点の条件

A「田単が、飢えた民に食糧を施したり、凍える民に衣類を施したりすることがあれば」（2点）

※田単の行う善行についての提示。「単の善」「単収めて之に食らはしむ」「単裘を解きて之に衣す」などの要素で○。

○Aのように具体的に書いてなくても、aのように、「田単の善行（行為）が（は・を）」だけでも○2点。

B「すべて民を憂慮する襄王の意向に沿ったものであることを示し」の要素（4点）

※Aが襄公の意向に沿うものであるとする要素。

※「寡人民の飢うるを憂ふるや、単収めて之に食らはしむ」「寡人民の寒ゆるを憂ふるや、単裘を解きて之に衣す」などの要素で、○。

○具体的に書いてあってもよい。

✖襄公が田単に命じてそのようにさせるような記述は✖。

C「田単の善行を賛美することで」（2点）

※田単の善行を賛美する要素。

※「王、単の善を嘉（よみ）して」「乃ち単に牛酒を賜ひ、其の行ひを嘉す」などの要素で○。

D「結局、それが王の善意から出たものであることにする」（2点）

※Aを「王の善意」にすりかえる要素

※「寡人百姓を憂労すれば、単も亦た之を憂ふ」「寡人の意に称へり」「単の善を善とせば、亦王の善なるのみ」などの要素で○。

※「ということ。」

○文末の「～ということ」の有無は不問とする。（文末の句点「。」のヌケは▲1点減点。）